

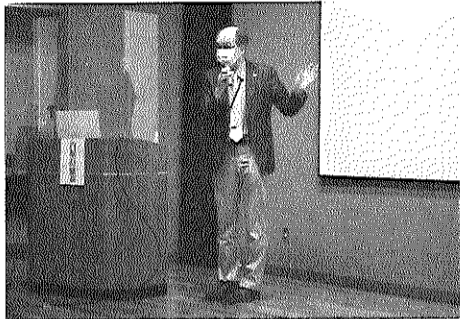
井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・令和4年6月1日・第28号通信
 責任者・小林 孝夫 (井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 事務局長・片岡 学史 kataokabaru@cocoa.plala.or.jp
 通信作成・馬場わかよ bwakayo@sf.commufa.jp

3年ぶりの定期総会は悪天候での開催

定期総会特別講演 鎌倉と戦国の「井の口」の歴史

講師 岐阜市文化財保護課 内堀 信雄 氏



講師プロフィール：栃木県宇都宮市生まれ
名古屋大学大学院文学研究科(考古学)修了
岐阜市ぎふ魅力づくり推進部文化財保護課主幹

講師の内堀氏は、岐阜市教育委員
員会にて信長公居館跡や金華山
周辺での発掘調査を長く担当さ
れ、平成30年の巨石石垣群等の発
見では、当会企画見学会にて現地
説明をいただきました。また、令和
2年に放送された大河ドラマ「麒麟
が来る」に合わせ、総会での講演

を3年続きでお願いしていました。
現在放送中の大河ドラマ「鎌倉
殿の13人」その13人合議制の二
二階堂行政が初めてこの「井口」に
稲葉山城を築城しました。戦国
時代に入り、鎌倉を受け継いだ道
三の時代に城と城下町を建設し
「井口」は山(城)と町を指すよう
になり、範囲が拡大繁栄し今の井
の口が始まります。信長は天守と
居館の大改造を行いました。
以上について、金華山の山頂から
居館跡、信長の庭など、長年の発掘
調査の成果をスライドを用いて、
「井口」とは何なのか、どのような
町で、鎌倉から戦国の時代の中で
どう移り変わったのかなど、時代と
共に変貌していった井の口の歴史を
説明いただきました。(岩佐純)

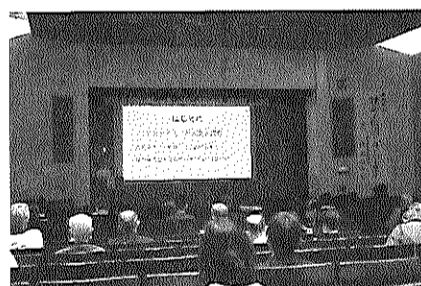
井の口まちづくり会



3年ぶり開催の総会。天候は生憎の雨。コロナ禍
が世の中の時を奪い、生活のリズムまで狂わしてきた
影響もあつてか、例年より少ない参加者となりました
た。しかし、来賓からのエールと集っていただいた会員
のご協力、さらには貴重な特別公演(左記掲載)によ
つて意義ある定期総会となりました。
また、開催に当たってはコロナ対策に余念がありま
せんでしたが、これも歴史博物館からのサポートをい
ただき、必要な措置を講じることができました。関
係者皆さまに厚くお礼申し上げます。
議題は、いずれも原案どおり承認されるなか、一昨
年同様に、計画された事業の中止報告の際立ちが気
になりましたが、逆に言えば、コロナ禍をさいて幾つ
かの事業が実施されたことに注目していただきたい
と感じたところです。
ここに来て政府から社会経済活動の回復の取り組
みが見られました。ウィズコロナの本格的な実践が
やると可能になるようです。井の口設立15周年を迎
えた今年度、関連する記念事業も企画されてお
り、今までと違った環境で前向きに活動していくこ
とを確認できた総会となりました。(小林孝夫)

令和4年度定期総会

令和4年
4/29
(祝)



特別講演の会場風景



岐阜市歴史博物館 大塚清史館長



ご出席いただいたご来賓の皆さま



金華自治会連合会会長 高木幹雄様



受付にて年会費の納金をする会員

令和4年・5年度役員

特別顧問 堀 達夫
顧問 杉山 秀子
相談役 松原 和生
高橋かづえ
会長 小林 孝夫 (大仏町)
副会長 堀 智仙 (梶川町)
伊藤 逸夫 (下茶屋町)
●後藤 勝利 (山口町)
事務局 片岡 学史 (大仏町)

会計 ●加野 直巳 (大宮町1)
会計監査 篠田 壽夫 (下茶屋町)
●名和 利夫 (松下町)
幹事 安藤 幸延 (梶川町) 岩佐 純一 (木挽町)
片岡 雅子 (大仏町) 小林 教子 (末広町)
鈴木 健雄 (梶川町) 高橋紀久子 (大仏町)
武井 英男 (夕陽ヶ丘) 林 憲和 (松山町)
馬場わかよ (万力町) 森 喜彦
●役職変更者

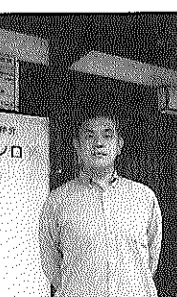
井の口まちづくり会の活動は会費で運営されています 年会費の納入をお願いします!

- 金華地区会員 1口 500円
- 金華地区外会員 1口 1,000円
※郵送料を含んでいます
- 法人・団体会員 1口 1,000円

会費納入に関しましては、左記の
会長・副会長3名・事務局長・会
計の役員6名へお届けいただけ
れば幸いです。
尚、井の口地区内は担当者が伺
いますのでよろしくお願い致します。

今町3丁目の秋葉様のお隣り。
まち並みに映える町家の格子に
掛かるまだ新しい看板の前で。

株式会社 井ノ口
電話 058-265-5060



「お子さんが戻って来るからと空けて
いる土地は、活用したほうがいいです。
戻って来ないならば、売却すること
です。もし不安ならば、声を掛けてく
ださい」。お一人おひとりの状況に合わ
せ、親身に相談できそうな頼もしさと
優しさを感じました。(馬場わかよ)

**まちなかお宝アート発見
まちの不動産屋さん「井ノ口」**
昨年、今町3丁目にある町家に「株
式会社井ノ口」の看板を見つけ、同じ
名前に親しみを感じお訪ねしました。
宅地建物取引士の資格を持つ田中
敏晴さんは、一部上場のハウスメーカー
で戸建分譲を20年以上手掛け、岐阜
支店長をされた方です。このまちで不
動産屋を始めて、自然の豊かさ、歴史
文化の深さ、利便性の良さなど、住ん
でみて改めてまちの魅力に気づいたと
言われます。だからこそ、まちの空き
家の増加が気になる。介護になつた
お年寄りが施設に入所すると、途端に
空き家になる現状を嘆かれます。
「自身もリノベーションした町家で
事務所を開き、古い町家の良さを実
感されています。でも、まちは人が住
むことで活性化されるものだから、古い
まち並みにこだわらず、多くの空き家
や空き地になつているこのまちの宅地
に、家を建てる若い人たちをもっと呼
び込みたいと話されます。
「お子さんが戻って来るからと空けて
いる土地は、活用したほうがいいです。
戻って来ないならば、売却すること
です。もし不安ならば、声を掛けてく
ださい」。お一人おひとりの状況に合わ
せ、親身に相談できそうな頼もしさと
優しさを感じました。(馬場わかよ)

井の口まちづくり会は本年、おかげさまで設立15周年を迎えます！

15周年記念事業「井の口まちのお宝展」vol.3を開催

開催日：10月9日(日)・10日(祝)の2日間

まちなかお月見アート：10月8日(土)・9日(日)・10日(祝)

10月8日は晩秋の名月・十三夜の日。この日は「井の口まちのお宝展」の会場等の準備日であり、13時からはススキの配布を行います。今年のススキ取りと配布には、中央中学の生徒たちがボランティアとして協力してくれます。恒例となっている「お月見アート」のススキ飾り。住民の皆さまのお力で、美しいまち並みの創出を今年もお願いします。

開催内容(予定)

①まちの歴史・文化を感じるお宝を展示

- 井の口の今昔・写真展
- 井の口ゆかりの古地図展
- 井の口まちづくり会顕彰事業〔第1弾を終了〕
「まちの文化的建造物」顕彰30展
- まちの建造物・建築技法の匠を拝見
各お宅へ〔まち巡りツアー〕にて訪問



※わが家の自慢の建造箇所や建築技法をぜひ拝見させてください

②わたしのわが家のお店のお宝を募集

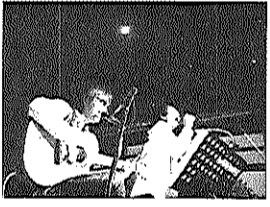
- わたしのコレクション・わたしの宝もの展
会場展示 または、各お宅にて展示
- わが家に伝わる骨董品・古い道具類の展示
会場展示 または、各お宅にて展示
- わたしの制作作品・趣味・特技の発表
会場展示 または、各お宅展示
- 生業・家業・店舗(会社)の商品や製品などのお宝・自慢を見学
各お店(会社)へ〔まち巡りツアー〕にて訪問



※展示品情報やお宝情報、出展のお申し出などをお待ちしています

③まちのにぎわい特別会場を予定

- * 学生落語寄席〔岐阜大学落語研究会〕
- * 占いコーナー * 創作紙芝居
- * 野菜販売 * 花苗販売 * 骨董品販売
- * キッチンカー * 物販出店 * 飲食出店
- ※楽器演奏や歌、物販・出店などのお申し出、情報提供をお願いします



④まち巡りツアーを予定

- * 井の口のまちを「歴史で深掘り」「生業で深掘り」「特色で深掘り」「見どころで深掘り」する〔まち巡りツアー〕を、まちなか案内人さんの協力を得て実施予定
- ※事前・当日募集(定員有り)・参加費必要(入館料・飲食代含む)

まちの宝ものを皆さんとじっくりよに確認し楽しむイベントです！

井の口まちづくり会会長 小林孝夫
5年ごとに開催し、井の口エリア内外から好評をいただいていた「井の口まちのお宝展」。今年は3回目の開催となり、コロナ禍を脱していることを期待しながら「お月見アート」の秋に併せて計画を進めています。

道三、信長が造った城下町井の口は、歴史文化の宝庫であり、周りを見渡せば興味をそそるいくつのお宝や伝承に気づきます。この井の口の魅力をさらに高めるため、まちの宝ものの存在をお互いに確認し楽しみたいと思います。

また、各ご家庭に保存されている珍しいものや懐かしいもの、貴重なもの、あるいは長く制作活動されている作品や収集品など、展示して差し支えないお宝をぜひご紹介ください。井の口ならではの「お宝展」を、皆さんと一緒に盛り上げたいと思います。

前回、10周年の「井の口まちのお宝展」の様子。平成29年11月4日(土)・5日(日)の2日間、井の口地区内に4つの会場を設け、今昔写真展や古地図展、懐かしの物たち展、わたしのお宝展を開催しました。にぎわい特別会場等では、お抹茶席、ぜんざい、手描き紙芝居上演、占いコーナー、三味線演奏などのほか、妙照寺境内では寺mamaマーケットの協賛物販も開場。また「井の口探索ツアー」の参加者にも楽しんでいただきました。



古地図と懐かしの物たち展の正法寺会場



妙照寺にて寺mamaマーケット



まちなか案内人さんとまち巡り



ぜんざい会場のふくろう絵工房

皆さまからのアイデア、協賛、出展、参加大募集

岐阜城の城下町・井の口は、道三、信長が天下取りの夢を果たそうとした歴史に登場する地です。このまちを誇りに思い、「井の口の歴史・文化の継承と、住んで楽しいまちづくり」を会のテーマに掲げる当会にとって、5年ごとの「井の口まちのお宝展」記念事業は、その思いを体現するものです。

このまちに住んでいる皆さま、このまちの歴史、文化、景観を愛する皆さま、会員・一般の区別なくどなたでも、この「お宝展」の開催趣旨に賛同し、ご協力いただける方を募っています。また、このイベントへのアイデアがあればぜひお聞かせください。

一緒に活動していただける方、コレクションや制作作品の展示、代々伝わる品物や道具類などに加え、にぎわい特別会場への出店者も大募集しています。

第12回 まちなかアート部会 まちなか七夕コンサートを開催

令和4年 7/2 (土)

日時：7月2日(土) 17時30分開場・18時開演
会場：般若寺(木挽町・公園の湯前)
出演：中川ワールド(中川茂のユニット)

今年の七夕コンサートはJAZZ(ジャズ)で感じる夕べです！

今年の七夕コンサートは、サクソと電子ピアノにギターを加えたトリオによるJAZZ演奏をお送りします。いぶし銀のような演奏と評判の「中川ワールド」の皆さん。夏の七夕のひとときに般若寺の庭から金華山を見上げながら、熱いJAZZの世界観を楽しみましょう。

令和4年度 広報通信作成部会 井の口地区自治会長会議を開催

令和4年 6/5 (日)

日時：6月5日(日) 19時～ 会場：正法寺(庫裡)

「井の口地区自治会長会議」は、私どもが行っているまちづくり会の活動を説明させていただき、ご意見やご提案などを頂戴することで、エリア内の自治会の皆さまと一緒にこのまちの歴史・文化の継承やにぎわいを創出していくための会議です。昨年は19自治会のうち11の自治会長さんの出席を得て、趣旨をご理解いただき活発な話し合いが行われました。コロナ感染の状況によっては開催を見送らなければならないこともございますが、別途、各自治会長様宛にご案内を差し上げておりますので、多数のご出席をお待ちいたします。

事務局だより

●事務局長 片岡 学史

定期総会が3年ぶりに開催された。感染者の数は減らないが、コロナ慣れしたのか、以前の日常に戻りつつあるような気がする。これは楽観的過ぎるだろうか。

さて総会だが、雨ということもあったが、残念ながら会員の出席が少なかった。会の規約の第1条には「魅力あるまちづくりを目指して地域市民が自ら主体となって」とある。総会は今年度の事業計画や予算を承認してもらう大事な場だ。多くの会員の皆さんに、会への関心を持ってもらえなかったことに、これまでの活動の在り方に問題がなかったか考えさせられた。今年には会設立15周年の節目の年。多くの記念事業を予定している。

大勢の皆さんが興味を持ち、参加していただける事業を実施し、まちづくり会の新たな始まりの年としたい。

●広報通信部会長 馬場わかよ
3年にも及ぶコロナ禍は、子供たちから体験や笑顔を奪い私たちが大人からも人とふれあう喜びを奪ってしまいました。3密を避ける生活様式は人の集まりを悪く見なしたからです。ウィズコロナと言われるようになって数か月。コロナ対策をしつつ、感染状況を見ながらですが、まちづくり会の活動再開に期待がふくらみます。

令和4年度の活動は、当会設立15周年記念事業の冠が付きます。会員はじめ住民の皆さまが参加・体験して楽しめる企画を用意して、コロナ以前のような笑顔を、マスク越しにでも感じたいと思います。